

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

2021 年 6 月 8 日
株式会社 GSユアサ

GSユアサ京都事業所に V2X システムを導入

株式会社 GSユアサ（社長：村尾 修、本社：京都市南区。以下、GSユアサ）は、2021 年 5 月、京都事業所に 2021 年 12 月発売予定の V2X システムを導入しました。V2X システムとは、電気自動車（EV）、太陽電池、蓄電システム、EV 用充放電器で構成され、EV と建物や電力系統間で電力を融通する自家消費型エネルギーシステムです。市場投入に先駆けて実証実験を行い、平常時のエネルギーマネジメントや、停電時の事業継続計画（BCP）への効果について確認します。

世界的な脱炭素化の流れを受け、日本では 2050 年カーボンニュートラル達成に向けて、再生可能エネルギーの積極活用、蓄電システムの導入、自動車の電動化などの取り組みが加速しています。また近年、台風・地震・水害などの大規模自然災害が増加しており、公共施設の防災機能強化や、民間施設の BCP 強化が課題となっています。

今回導入した V2X システムは、平常時は再生可能エネルギーの自家消費、再生可能エネルギーを 100% 使用した EV への充電、EV 充電時に生じるピークデマンドの削減など、エネルギーの有効活用が可能で、CO₂ 削減にも貢献します。また、停電時には、EV に搭載された蓄電池、太陽電池、蓄電システムを活用し、施設の照明、コンセントなどの電灯負荷や、業務用空調などの動力負荷にも電力供給を行うことが可能で、防災機能強化や BCP 強化に貢献します。

本設備の導入と実証を通じて得られた知見やデータは、今後の製品、サービス開発に活用し、お客様のニーズに応じてまいります。

【システム概要】

導入場所	GSユアサ 京都事業所 西事務技術棟
導入設備	太陽電池（出力：15kW）、蓄電システム（出力：20kVA、蓄電容量：35kWh）、EV 用充放電器（出力：10kW）、エネルギーマネジメントシステム

【実証概要】

1. 再生可能エネルギーの自家消費

平常時は太陽電池で発電した電力を自家消費します。施設を一つの需要家とみなし、休日の余剰電力は蓄電システムやEVに充電します。電力自給率や自家消費率の推移、CO₂排出量削減効果などを確認します。

2. 再生可能エネルギーのモビリティへの活用

業務用車として利用するEVへ再生可能エネルギーを100%用いて充電し、業務用車のゼロエミッション化を実現します。

3. EV充電時のピークカット

EVを充電する際に発生するピークデマンドを、蓄電システムから放電することによってピークカットします。ピークカットには、再生可能エネルギーで蓄電システムに充電した電力を活用します。

4. BCP 対応

停電時は、EVに搭載された蓄電池と、太陽電池、蓄電システムで施設内の特定負荷※をバックアップします。特定負荷は、照明、コンセントなどの電灯負荷や、業務用空調などの動力負荷に接続します。

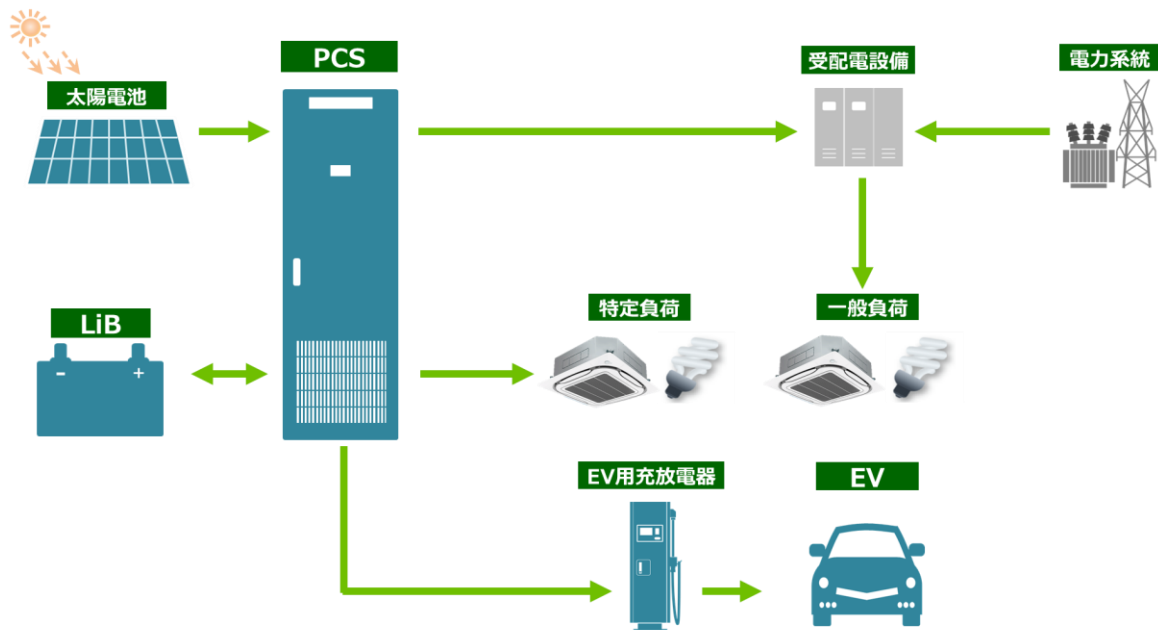
※停電時に使用する負荷

【写真】

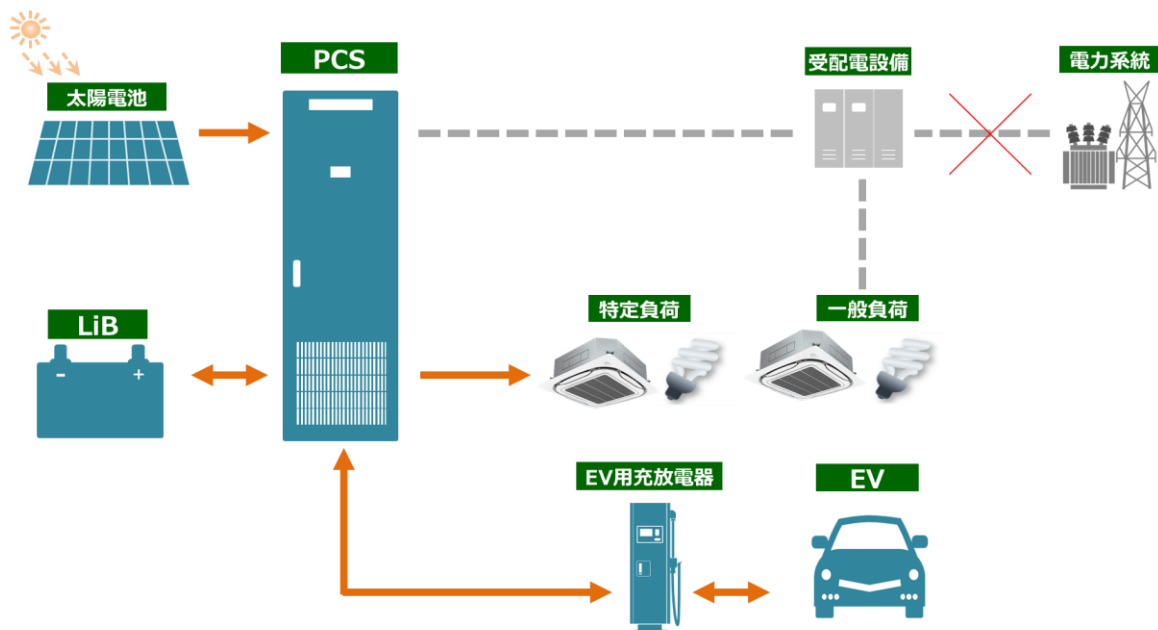
〔設備全景〕



[平常時の電力供給]



[停電時の電力供給]



[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 産業電池電源事業部 事業企画本部 事業戦略部
TEL 03-5402-5820

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ コーポレートコミュニケーション部
TEL 075-312-1214